

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	生活環境美化推進事業			事業番号	26-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	田中 丈司	環境美化センター	石田 康弘	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる	
		施策	26	生活環境美化の推進	
予算事業名	生活環境美化推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	-
関連法令等	伊勢原市ごみ処理等の適正化及びポイ捨て等の防止に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・神奈川県動物の愛護及び管理に関する条例等				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	-			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	公園、広場、道路、河川等の公共の場所や他人の土地において、ごみのポイ捨てやたばこの吸殻、犬の糞の放置などが見受けられ、生活環境の悪化が懸念されているため、条例を整備し、市民のルールやマナーの啓発と意識の高揚を図る必要があった。				
目的 (何をどうしたいのか)	本市の生活環境美化推進のために、市民のルール・マナーの啓発と意識高揚に向け、条例等を整備し、ごみの散乱の抑止に取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	地域住民				
事業内容 (手段、手法など)	・廃棄物減量等推進員(衛生委員)と連携し、各地域のパトロールを強化するとともに、看板やチラシ等により、ゴミ散乱等の防止に関する周知や意識啓発を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	ごみ散乱等の啓発及び防止パトロール	継続実施	継続実施		
	衛生委員会会議の開催	開催	開催		
	ポイ捨て禁止等看板の設置	設置	設置		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	ごみ散乱防止等の啓発及びパトロール回数	2回	4回	4回	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	引き続き、ごみ散乱防止パトロールを定期的を実施し、また不適持出等の悪質な事案については、個別指導に入るなど、地域の環境改善に努めるとともに、その効果を検証していく。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先 伊勢原市衛生委員会
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容 地区衛生委員によるパトロール及び美化指導
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	ごみ散乱等の啓発及び防止パトロール	継続実施	
	衛生委員会会議の開催	開催	
	ポイ捨て禁止等看板の設置	設置	
実施した取組の内容	ごみ散乱等の啓発及び防止パトロールを行い、地域内の問題箇所の把握と啓発看板の設置を行った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	ごみ散乱防止等の啓発及びパトロール回数	2回	4回
			29年度

コスト	年度	28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)		866	千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円			千円		
		地方債 ②	0	千円			千円		
		その他特財 ③	0	千円			千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	866	千円			0	千円	
	国県支出金の内容								
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無		前回の改定時期				
		その他							
	人件費	正規職員	0.3	人	2,595	千円		人	千円
		その他の職員	0	人	0	千円		人	千円
		人件費合計 (b)	0.3	人	2,595	千円		人	千円
	トータルコスト (a)+(b)		3,461	千円					千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位
			対象数	101,635	人				
総事業費 / 対象数		34	円					円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	ごみ処理等の適正化及びポイ捨て等の防止に関する条例の施行による環境改善への期待があり、ポイ捨て等の防止パトロールの実施回数や看板設置の増加など一定の効果に現れた。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	ポイ捨て等の防止条例における罰則規定については、各市町村によって規定する、しないが定まっていないため、一律に比較することはできない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市内全域でごみ散乱等の防止パトロールを実施し、地域内の問題箇所を把握するとともに、さらに重点パトロールを行うことで環境改善が図られた。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	不適持出など悪質な事案に対しては、個別指導を実施するなど効果的な措置を検討する必要がある。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	地域の環境改善については、ポイ捨て防止活動等の中長期的な取り組みが必要である。地域における課題を把握しながら、継続的に取り組んでいきたい。
次年度取組方針		引き続き、ごみ散乱防止パトロールを定期的実施し、また不適持出等の悪質な事案については、個別指導に入るなど、地域の環境改善に努めていく。また、集積所や不法投棄の多い場所に、監視カメラ等を設置し、その効果を検証していく。		
所管部長による総評		本市の良好な生活環境の維持に向けては、美化意識の醸成が不可欠となる。このため、各自治会で活動する衛生委員の普及啓発活動及びごみ散乱防止パトロール等は、地域の環境改善に貢献している。市はこれらの活動を積極的に支援していくとともに、市広報等による普及啓発活動に努めることで、生活環境美化の実現に繋げていく。		